

一般入学試験 A日程

世界史B（選択科目）(60分)

I. 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

ヨーロッパ大陸の南西端に位置するイベリア半島は、古くから様々な文化や民族が交流する舞台となつた。

前8世紀頃からフェニキア人など東地中海沿岸の諸民族による地中海進出が本格化する。これらの民族は交易を目的にイベリア半島も訪れる植民活動を展開した。フェニキア人が北アフリカに建設したカルタゴは、母市の[A]がアッシリアに支配されて以降、西地中海の貿易を支配して次第に有力となり、前6世紀頃にはイベリア半島のギリシア系都市を制圧した。これ以降、ローマが勢力を拡大するまでの間、カルタゴは西地中海の交易をほぼ独占した。前3世紀、西地中海の霸権を巡ってカルタゴとローマとの間にポエニ戦争が起こった。第1回ポエニ戦争に敗れ[B]島を失ったカルタゴは、イベリア半島の経営に力を注ぐようになり、カルタゴ＝ノヴァを建設して拠点とした。第2回ポエニ戦争では、ハンニバルがカルタゴ＝ノヴァから陸路進軍してイタリア半島に攻め込んだが、これに反撃したローマは將軍スキビオを派遣し、前202年にはカルタゴ西南での[C]の戦いにおいて勝利を収めた。

ローマは領土拡大を目指してイベリア半島の地中海沿岸部から内陸部へと軍事活動を展開し、前2世紀の後半には半島支配の霸権をほぼ確立した。パクス＝ロマーナの時代には「ローマ化」が進展し、都市を結ぶ道路や水道橋などが建設された。また豊富な鉱産物や安価なブドウ、良質なオリーブの産地として経済的に繁栄したことを背景に、多くの政治的・文化的な人材を輩出した。ローマ領最大版図を現出したトラヤヌス帝、それを継いた[D]帝などがその代表である。

4世紀後半にゲルマン人の大移動がはじまると、5世紀前半にはイベリア半島にもゲルマン諸族が相次いで侵入した。それらのなかで、西ゴート人は初め南フランスに王国を築いたものの、[E]朝のランク王国に敗れたことを契機に王国の重心をイベリア半島へと移した。しかし、8世紀前半にイスラーム勢力がジブラルタル海峡を渡りイベリア半島に侵攻すると、711年に西ゴート王国は[F]朝に敗北し、半島の大部分はイスラーム勢力の支配下となった。

8世紀半ばに成立した後ウマイヤ朝の支配下において、都の[G]は文芸の中心地となって繁栄した。しかし、11世紀に後ウマイヤ朝が崩壊すると、イベリア半島はイスラーム国家が分立する状態となった。このような状況を背景に、カスティリヤ王国やアラゴン王国といったキリスト教国家は、イベリア半島からのイスラーム勢力駆逐を目指すレコンキスタを本格化させたが、12世紀には新たにイスラーム国家の台頭もあり、一時後退した。

その後、15世紀後半に、アラゴンの[H]とカスティリヤのイサベルの結婚によりスペイン王国が成立すると、同王国は1492年にナスル朝の都を陥落させて、レコンキスタは完成した。

問1 文中[A]から[H]までの空欄について、それぞれ最も適当なものを、以下のなかから一つ選んでマークしなさい。解答番号は[1]～[8]。

- | | | | |
|------------|----------|----------|------------|
| A ① ダマスクス | ② ティルス | ③ ニネヴェ | ④ バビロン |
| B ① マルタ | ② エルバ | ③ セイロン | ④ シチリア |
| C ① ザマ | ② カタラウヌム | ③ カイロネイア | ④ マラトン |
| D ① カエサル | ② ネルウア | ③ ハドリアヌス | ④ ポンペイウス |
| E ① メロヴィング | ② ヴァロワ | ③ カロリング | ④ シュタウフェン |
| F ① ハルジー | ② カラハーン | ③ アッバース | ④ ウマイヤ |
| G ① グラナダ | ② コルドバ | ③ マラケシュ | ④ トンプクトゥ |
| H ① カルロス | ② ジェームズ | ③ フリードリヒ | ④ フエル NAND |

問2 下線部(ア)について、「出エジプト」を先導したヘブライ人の指導者を、以下のなかから一つ選んでマークしなさい。解答番号は[9]。

- ① イエス ② モーセ ③ ペテロ ④ パウロ

問3 下線部(イ)について、パクス＝ロマーナ期のローマについての記述として適切でないものを、以下のなかから一つ選んでマークしなさい。解答番号は[10]。

- ① サータヴァーハナ朝と季節風貿易を行った。
 ② ドラコンが慣習法を成文化した。
 ③ ネロ帝がキリスト教徒を迫害した。
 ④ マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝が『自省録』を著した。

問4 下線部(ウ)について、南フランスのアヴィニヨンへと教皇庁が移った際のフランス王を、以下のなかから一つ選んでマークしなさい。解答番号は[11]。

- ① ルイ9世 ② ルイ13世 ③ フィリップ2世 ④ フィリップ4世

問5 下線部(エ)について、イスラーム勢力についての記述として適切でないものを、以下のなかから一つ選んでマークしなさい。解答番号は[12]。

- ① ファーティマ朝はカリフを称した。
 ② ブワイフ朝はイクター制を創始した。
 ③ セルジューク朝はシーア派を国教とした。
 ④ ロディー朝はデリーを都とした。

II. 次の文章を読んで、設間に答えなさい。

中国では明の後期から清の前期にかけて、Aらが創設したイエズス会の宣教師によって西洋の先進知識がもたらされた。大航海時代を契機にポルトガルやスペインがアジアへと進出するなか、商船などに乗船した多くのイエズス会宣教師が中国へと來訪した。天文学や地理学など、多くの先進知識を伝えたイエズス会宣教師らは、中国の知識人層からの支持を集め、明・清代に天文などをつかさどる官庁であつた欽天監の長官に任命されることもあった。

明代に来航し、イエズス会による中国へのキリスト教布教の礎を築いたマテオ＝リッチは、17世紀初めに中国最初の漢訳世界地図である『B』を刊行した。この地図はフィレンツェのCが提唱した地球球体説を中国に紹介し、知識人層の閉ざされた世界觀を啓蒙する役割を果たすとともに、江戸時代の初期に日本にも持ち込まれ、実学の勃興に大きな影響を与えた。明末に中国へと渡ったアダム＝シャールは、『農政全書』の著者であるDの指導のもと西洋天文学を中国語に翻訳し、『崇禎曆書』を刊行した。これ以来、中国で西洋暦が注目されるようになり、『崇禎曆書』は暦法上の重要な参考書となった。

清朝においてもアダム＝シャールは重用され、明滅亡を機にE閥を越えて中国本土の支配を確立した順治帝から、西洋天文学による暦の作成を命じられて、『崇禎曆書』をもとに『時憲暦』を作成し、その後、欽天監の長官に任命された。欽天監で彼を補佐したベルギー出身のFも、清朝第4代のG熙帝に重用された。彼は、首都に天文台を建設して種々の新しい観測機械を作成したほか、吳三桂らが起こしたHの乱に際し、大砲と小砲の鋳造を行ってその鎮圧に貢献したことでも知られている。イタリア出身のカステリオーネは、康熙帝・雍正帝・乾隆帝の3帝に仕えて多くの絵画を作成した。彼の絵画作品は、中国絵画の技術と西洋風の陰影法をもって描く折衷的な様式で、同時期の画院絵画に大きな影響を与えた。また、首都であるIの北西郊外に造営された清朝の離宮である円明園の設計に参画し、中国最初のバロック様式の宮殿と大噴水の建設に携わった。

問1 文中AからHまでの空欄について、それぞれ最も適当なものを、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は13～20。

- | | | | |
|-------------|------------|---------------|--------|
| A ① ツヴァイングリ | ② カルヴァン | ③ イグナティウス＝ロヨラ | ④ ルター |
| B ① 坤輿万国全図 | ② 清明上河図 | ③ 皇輿全覽図 | ④ 天工開物 |
| C ① コベルニクス | ② バルボア | ③ トスカネリ | ④ マゼラン |
| D ① 李時珍 | ② 徐光啓 | ③ 宋応星 | ④ 欧陽脩 |
| E ① 山海 | ② 雲南 | ③ 天山 | ④ 楽浪 |
| F ① ルブルック | ② ブラノ＝カルビニ | ③ フェルビースト | ④ ブーヴェ |
| G ① 紅巾 | ② 三藩 | ③ 黄巢 | ④ 太平天国 |
| H ① 北京 | ② 開封 | ③ 長安 | ④ 洛陽 |

問2 下線部（ア）について、明についての記述として適切でないものを、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は21。

- ① 洪武帝は一条鞭法を実施した。
- ② 朱子学を官学化した。
- ③ 永楽帝はモンゴルに親征した。
- ④ 李自成の乱により滅亡した。

問3 下線部（イ）について、清朝においてキリスト教布教の自由が認められた条約を、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は22。

- ① 南京条約
- ② 天津条約
- ③ 下関条約
- ④ 黃浦条約

問4 下線部（ウ）について、康熙帝がロシアと結んだ国境線を定めた条約とその際のロシア皇帝の組合せとして正しいものを、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は23。

- ① 条約一ネルチンスク条約 ロシア皇帝—ピョートル1世
- ② 条約一キャフタ条約 ロシア皇帝—エカチエリーナ2世
- ③ 条約一ネルチンスク条約 ロシア皇帝—エカチエリーナ2世
- ④ 条約一キャフタ条約 ロシア皇帝—ピョートル1世

問5 下線部（エ）について、乾隆帝によりヨーロッパ船の来航を許可する唯一の港と定められた海港都市を、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は24。

- ① 泉州
- ② 上海
- ③ 揚州
- ④ 広州

III. 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

17世紀以降、植民地経営を本格化したイギリスとフランスは、18世紀になると、ヨーロッパでの勢力争いとともに、世界商業の支配権と海外植民地の争奪をめぐる激しい勢力争いをくり広げた。

係争地の一つとなったのがインドである。1600年に東印度会社を設立したイギリスは、**A**事件においてオランダに敗北し、東南アジアから縮め出されたことを契機にインド経営に力を入れ、マドラス・ポンペイ・カルカッタを拠点に盛んな通商活動を展開した。一方、1664年に東印度会社を再建したフランスも、財務長官の**B**のもとでインドへの進出を本格化させ、カルカッタの近くに位置するシャンデルナガルなどを拠点にイギリスと対抗した。両国は北アメリカにも進出し、1607年にヴァージニア植民地を開いたイギリスは、オランダが開いたニューネーデルラント植民地を17世紀後半に奪いニューヨークと改称するなど、その支配領域を次第に拡大していった。一方、フランスは17世紀初頭以来ケベックを中心にカナダへ進出するとともに、ルイ14世の時代にはミシシッピ川流域にも進出して、広大なルイジアナ植民地を建設した。

18世紀に入るとイギリス・フランス両国は、スペイン継承戦争やオーストリア継承戦争などのヨーロッパで起こった戦争と並行して、植民地でも軍事的な衝突を繰り返した。とくに**C**の支配権争いを契機とした七年戦争中には、インドではプラッシーの戦い、北アメリカでは**D**戦争が勃発するなど、世界的な規模で両国の戦争が展開された。すでに財政革命を実現していたイギリスは、大量の国債を発行して巨額の戦費調達に成功したことなどを背景に、これらの植民地戦争に勝利してインド・北アメリカ両地域からフランスを駆逐し、植民地帝国の基礎を築いた。

しかし、相次ぐ戦争は、両国に深刻な財政危機をもたらした。イギリスは多大な負債を解消するため、北アメリカの13植民地に対して1765年に**E**法を制定するなど重商主義的な政策の強化をはかったが、こうした本国の政策に対して植民地側は不満を募らせ、1775年にはイギリス本国の軍隊と植民地側の民兵との間で武力衝突が起こり、アメリカ独立戦争の口火が切られた。本国の正規軍は、植民地側の軍隊に対して当初優勢であったが、ボーランドの**F**らの義勇兵やフランス・スペインなどが植民地側で参戦したことにより次第に劣勢となった。そして、1781年に植民地側がヨークタウンの戦いで勝利をおさめたことで戦争の趨勢は決し、イギリスは**G**条約でアメリカ合衆国の独立を承認した。アメリカの独立によりイギリスが植民地帝国の再編を余儀なくされる一方、度重なる戦争に関与してきたフランスの国家財政も破綻寸前であり、1789年にはフランス革命が勃発して政治的な混迷期を迎えることとなる。

問1 文中**A**から**G**までの空欄について、それぞれ最も適当なものを、以下のなかから一つ選んでマークしなさい。解答番号は**25**～**31**。

- | | | | |
|--------------|----------|---------|---------------|
| A ① ブーランジエ | ② アンボイナ | ③ ファショダ | ④ ドレフュス |
| B ① コルベール | ② テュルゴー | ③ ネッケル | ④ ウォルポール |
| C ① ラヴェンナ | ② フランドル | ③ アルザス | ④ シュレジエン |
| D ① ジョージ王 | ② ウィリアム王 | ③ アン女王 | ④ フレンチ＝インディアン |
| E ① 印紙 | ② 穀物 | ③ 審査 | ④ 航海 |
| F ① ラ＝ファイエット | ② コシューシコ | ③ タレーラン | ④ メッテルニヒ |
| G ① パリ | ② ロンドン | ③ ユトレヒト | ④ ヴェルサイユ |

問2 下線部（ア）について、イギリスについての記述として適切でないものを、以下のなかから一つ選んでマークしなさい。解答番号は**32**。

- ① オタワ連邦会議を開催して、スターリング＝ブロックを形成した。
- ② クックの領有宣言を契機に、オーストラリアを植民地とした。
- ③ ジョゼフ＝チェンバレンは、南アフリカ戦争を引き起こした。
- ④ 第3回選挙法改正により、女性に参政権が拡大した。

問3 下線部（イ）について、国民会議カルカッタ大会でスワラージ要求を掲げたインド民族運動の指導者を、以下のなかから一つ選んでマークしなさい。解答番号は**33**。

- ① テイラク
- ② クライヴ
- ③ ビニヨー
- ④ アギナルド

問4 下線部（ウ）について、東南アジア諸国の中でも唯一植民地化を回避したタイの王朝を、以下のなかから一つ選んでマークしなさい。解答番号は**34**。

- ① マタラム朝
- ② コンバウン朝
- ③ ラタナコーシン朝
- ④ クディイ朝

問5 下線部（エ）について、アメリカ合衆国についての記述として適切でないものを、以下のなかから一つ選んでマークしなさい。解答番号は**35**。

- ① ウォール街の株価大暴落を契機に世界恐慌がはじまった。
- ② マッキンリー政権は、アメリカ＝スペイン戦争に勝利した。
- ③ 南北戦争中に、大陸横断鉄道が開通した。
- ④ 第一次世界大戦を契機に、債務国から債権国となった。